

TOPIX!

「訪問看護相互研修」～住み慣れた地域で自分らし暮らせるように～



10月から1月にかけて、令和7年度「訪問看護ステーション」と「医療機関等」における相互研修を実施しました。

当院から8名の看護師が4か所の訪問看護ステーションに2日間同行し、在宅療養を支える訪問看護師の役割を学び、2月5日に実践報告会を行いました。

訪問看護師は利用者や家族が実践できるケアの提供やコスト面を考慮した物品の工夫(褥瘡ケア用の手作りガーゼ)を実践されており、また予測される状況に応じたケア内容を検討されていました。最近では家庭での介護力の低下、老々介護が多くなる中で、このような多岐にわたる看護を提供することで在宅療養を支えている訪問看護師に圧倒されつつも良い学びとなりました！

これからも、このような研修を続けることで必要な看護を理解し、地域住民が住み慣れた場所で暮らし続けられるように訪問看護師や地域支援者と共に宮古島を支えていきたいと思ひます。

令和7年度 訪問看護ステーション研修実践報告会		発表一人3分
発表者	研修場所	
1 本村千夏	訪問看護ステーションみやこ	
2 地原由紀子	訪問看護ステーションみやこ	
3 奥平りえ子	訪問看護ステーションみやこ	
4 地間良美	らいくゆー訪問看護ステーション	
5 安元梢	訪問看護ステーションドクターゴン	
6 宮城江里子	訪問看護ステーションドクターゴン	
7 轟納誠	らいくゆー訪問看護ステーション	
8 大原勇次	訪問看護ステーションサンライズ	



【実施した相互研修について】

- ・訪問看護ステーションみやこ (R7/10/2-3 2名、R7/11/5-6)
- ・らいくゆー訪問看護ステーション (R7/11/13-14、R8/1/19-20)
- ・訪問看護師ステーション ドクターゴン (R8/1/19-20、R8/1/22-23)
- ・サンライズ 訪問看護ステーション (R8/1/20~21)

研修内容:訪問看護師とともに在宅、在宅型有料老人ホーム等への訪問し実際どのようなケアが提供されているか知る。

病院からのお知らせ

2月17日は「宮古緊急搬送の日」

緊急搬送は、重篤な患者さんの命を救うために欠かせない重要な医療行為です。日々、医療スタッフや救急隊員たちは、危険を顧みず献身的にこの任務を果たしています。私たちは、このことを広く周知し、感謝の気持ちを伝えたい。そのような願いから、2月17日を「宮古緊急搬送の日」と制定しました。



この日を選んだ理由は、1990年2月17日に宮古島から沖縄本島への緊急搬送業務にあたった自衛隊の小型飛行機が海上に墜落し、尊い犠牲となった日だからです。

演会でした。
感じるような、あたたかい講演会でした。
点と、深田先生の甲状腺愛を感
甲甲状腺専門病院ならではの視
どの関連も疑われています。
かの地域で認められ、遺恨な
呼び、日本においてもいくつ
特定地域に甲状腺腫が多発
する状況を地方性甲状腺腫と
さました。
腺腫を考える」といったテーマで講演いた
2月9日月曜日、神戸の隈病院より深田
修司先生が来島され、宮古病院にて講演会を
開催されました。「臨床のヒント〜地方性甲
腺腫を考える」といったテーマで講演いた
さました。



